

ソーシャルミックスを志向する「未来の団地」にふさわしい交流拠点の提案です 「人」と「人」との繋がりが生まれる共創に応じて何色にも変化する「つなぐ 紡ぐ おいしい」“場”です。
築45年の前世紀の社会資産を活かしつつ 居住者オンリーでパブリックな「集会所」から 顔の見える地域住民がマネジメントして住民の“しあわせ感”アップに寄与する「交流拠点」にリ・デザインします
全ての住民が“しあわせ”を感じるサスティナブルなコミュニティづくりのための仕掛けの一つ・スタートと考えます
『洋光台』の由来となった「太平洋からの朝日を望む」明るい日々暮らし 太陽や自然を身近に感じる豊かな日々を彩る 未来につなげる場です。
「みんなの広場」からエレベーターシャフトを利用した敷地中央の塔は 360度の方位でみなさまを誘導してくれます。

デザインテーマ <多様なつながりの場をつくる>

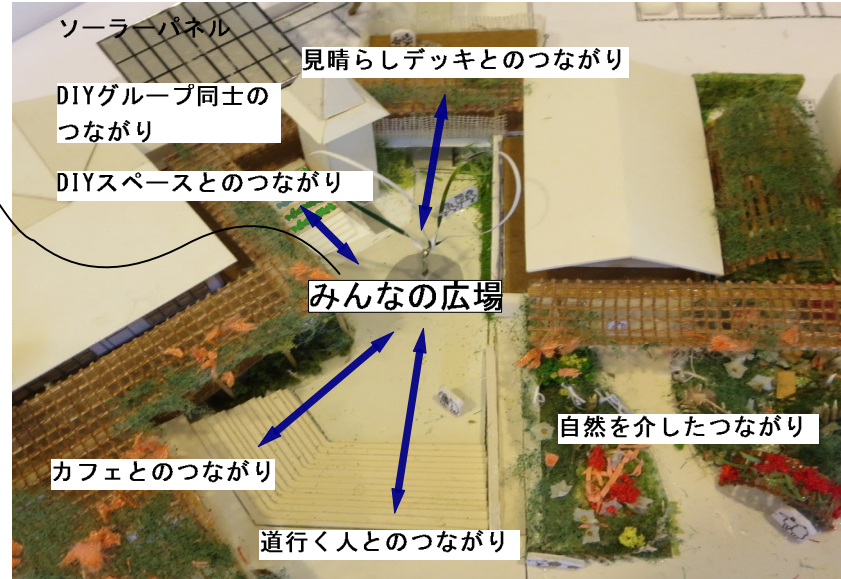
- 人が出会いふれあう多様な「場」** みんなの広場・みんなのガーデン・テラスデッキ・カフェ・集会所
つながりづくりは人が出会う場からスタート。共創的コミュニケーションの場
- 紡ぐ「豊かさ」を実感できる「可変空間」** みんなのDIYスペース・みんなのキッチン
ゲストルーム・屋外アート作品・塔・展覧会
写真展・壁画・光のアート鏡面仕上に映る景色
- 安心の拠点** 情報の受信・発信基地・E-ラウンジ他
E-ラウンジのコンシェルジュデスクは地域ケアプラザのランチの取組もできる
地域情報の活発な交流 自主活動グループや新たな取組みの創発で 相互支援も生まれる。
- サスティナブル・エコな建物** 管理事務所・集会所（使える建物を活かす）
みんなのDIYスペース・みんなのキッチン（みんなで良い道具を共有）
ソーラーシステム・LED照明・雨水タンク・井戸
自然素材を使ったしつらえ・省エネ 災害時の拠点



つなぐ 紡ぐ おいしい！ 交流拠点洋光台北 「たまたま箱」

地域の創発（自治）＜マネジメント組織が運営する＞

- I 仮称「洋光台北団地協同組合」の創発で空間を最大限活用する
▶自在に可変する空間のマネジメント（「幸せ感」の最適化）が必要
・総会や講演会などに使う大会議室は 日常は細分化して活用する
「みんなのキッチン」を中心に オープンカフェ、食事会、住民の自主活動グループ（自主保育や学童保育等）の取組みに活用
・情報の受信・発信は多くの人に活用してもらうための最大課題
コンシェルジュ機能 インターネットのインフラ整備 紙媒体が必要。
- ▶仮称「洋光台北団地協同組合」とは？
・「たまたま箱」を独立経営できるマネジメント組織
・非営利で可変型にふさわしい多様な取組を展開するため 協同組合方式を想定する。
・「この指止まれ」方式で 誰もが参画できる開かれた組織で
経営とまちづくりを両立させる組織とする
- II 既存の自治組織・UR管理事務所とは役割分担して連携する
▶マネジメント組織が自主管理する
UR管理事務所とは役割分担をしつつも 連携した取組を展開



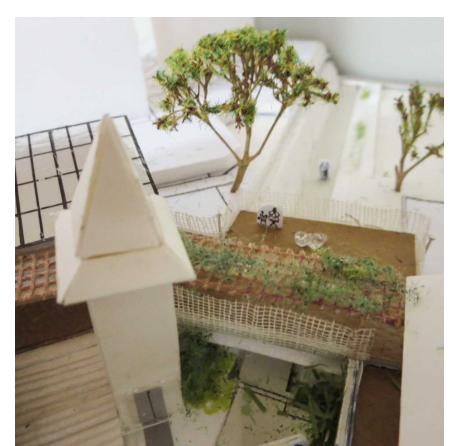
E-ラウンジ(コンシェルジュデスク)
エントランスとつながったギャラリー
・展覧会・写真展・発表会
情報の受信・発信基地デスク
・コンシェルジュ・活動グループ紹介
・スケジュール管理・貸し室管理
・活動に関するなんでも相談
・地域ケアプラザのサポートデスク

小会議室～和室・洋室
少人数のグループ活動や会議
・書道・茶道・華道・絵画・絵手紙
・乳児の託児スペース・赤ちゃん教室
住戸に宿泊スペースがなくても友人
や親戚が宿泊できる部屋としても活用
・看病・介護

Sewing&Washスペース
布を広げてカットできる大きな裁縫台
ミシンを自由に使えるカウンター
大物も洗濯やアイロン可能な設備を
シェアすることで
スペースも費用も節約できる
手仕事教室も開催したい

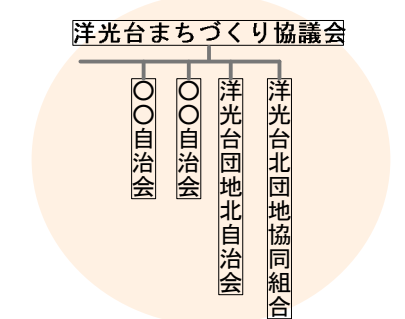
みんなのDIYスペース
一人ではできないこともみんなでDIY。
一緒にやることでコミュニケーションも生まれ
作品も時には展示
得意なことを教え合い 楽しみが二倍三倍に
陶芸・織物・油絵・版画・彫刻・彫金
スタンドグラス・七宝焼き
仲間を募って様々な活動をする拠点となる

木エスペース
日曜大工仕事やペンキ塗りができる
頑丈なワークデスクが中心に備えられ
のこぎり、かんなど電動ドリルなど
道具が完備。
セミプロの住民がレクチャーする
DIY教室も開催。



見晴らしデッキ
屋外のワークスペースとして
また展示スペースとして活用できる
居住者や道路からの視線を意識して
イベントを行うことも可能
広場やガーデンのイベントとの
運動もできる。
子ども達の遊び場としても活用したい

運営イメージ
＜洋光台北団地協同組合＞
交流拠点洋光台北のマネジメント
を目的に「洋光台北団地協同組合」
を創設します。



地域組織「洋光台まちづくり協議会」
の協力のもとに自治会と効力協働の取
組を行う団体として協同組合を設置
交流拠点洋光台北（たまたま箱）敷地全
体を活用して、洋光台地域全体の「幸
せ感」を豊かにするための自治経営組
織である。

- ・様々なイベント、コンサート、野外劇等を
開催する空間
・定期的な青空マーケットやフリーマーケットの開催
・日中はダンスの練習で中高生も集まる
・冬はクリスマスツリーで夏は七夕飾りでライトアップ
・楽しい、飲食できるおいしいもの祭り開催
・DIYの屋外作業空間 教室空間
自主託児グループの安全な屋外空間

みんなの広場

「洋光台」を象徴する「光」
にあふれた賑わいの場
多数の住民が集まる場
「たまたま箱」のように
個人のあなた・あるいは
グループの好みに「ヒカル」
場・空間として活用

- 一層の広がり感 多角的な視線を
意識した擁壁の鏡面仕上げ
- 観客席や小休憩にも使える階段
- 冬はクリスマスツリー 夏は七夕飾り
でライトアップ
- 季節感を提供する
- 回廊のどこからでも
アイコンタクトできるしつらえ

大会議室(グループ活動スペース)

通常は「グループ活動スペース」と「みんなのキッチンスペース」
として区切って活用する 総会や講演会など大勢が集まる時には
全体とホールとして使う

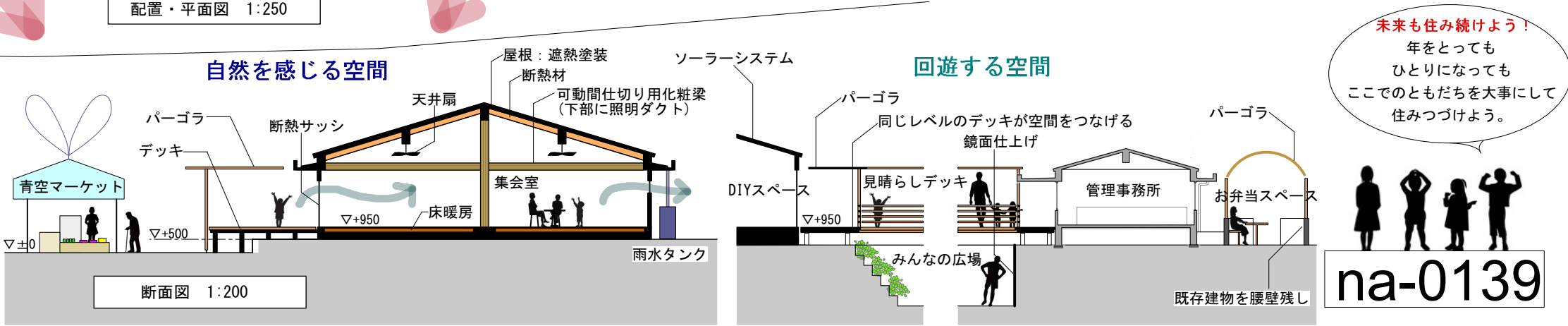
グループ活動スペース
自主保育・託児・学童保育・高齢者カフェ・託老施設
日常の暮らしやすさ・自分らしさを求めるための取組を展開
カフェデッキ～地域とつながるオープンカフェ～
近隣の方々もふらっと立ち寄れる開かれたカフェの運営を行う
地域の交流・情報交換の場として誰でもウェルカム
セミプロの腕前を持つ居住者の惣菜やパン ケーキなどを並べて
時には料理教室も開催

みんなのキッチン

～みんなで作る・食べる～

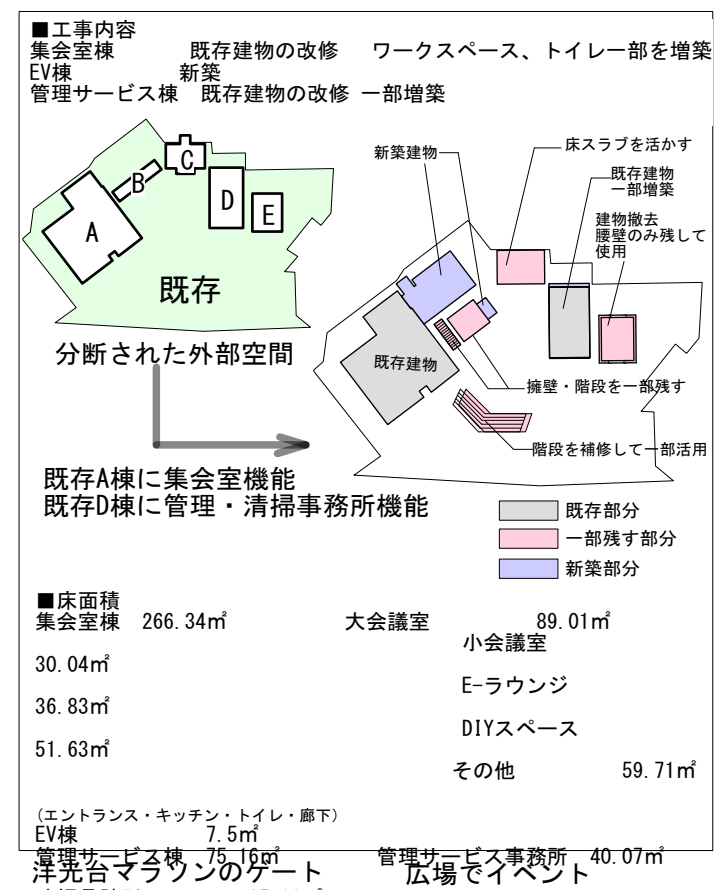
世帯単位で調理・喫食する日常の食事を 一部協働化することで忙しい共働き家族 子
育てファミリー、高齢者世帯などの暮らしの不安や負担を減らし 食を楽しむ機会をつ
くりだす。
＜運営イメージ＞
希望者でグループをつくり 交代で食材購入 調理をする。設備使用料を含めても
参加者は実費程度で食事を楽しむことができる 週末のみ、または水・日曜日の夕食のみ
高齢者のための食事を開催するなど参加者のニーズに合わせた運営をしていく

夜も明るいカフェ テラスデッキイメージ



未来も住み続けよう！
年をとっても
ひとりになっても
ここでのともだちを大事にして
住みつけよう。

na-0139



出典(左4枚)：「都市空間における可変的利用方策に関する海外事例調査
(伊国) 速報」国土交通政策研究所報第5号2015冬季

出典：「ぼちぼち長屋HP
社会福祉法人愛知たいようの社